

きよの紙面

小沢氏、達増知事と会談  
みちのくあじさいまつり開幕  
母禮をたたえる会が10周年  
沿岸指導者らが舞踊ショー  
元五輪選手がソフト教室

県内  
一関 両磐  
胆江  
北上  
花巻

加。運用を確実なものにしよう」と、市職員が給水車を稼働させた。市消防団機動部隊と県防炎ヘリ「ひめかみ」の連携による救助救出訓練も行われた。

市内の自主防災組織は約100人が参加し、越水を防ぐ積み土のう工法に取り組んだ。同市赤荻字下谷地から参加した阿部孝行さん(74)は「以前よりも会場は狭くなったが、目の前で工法が見られるのでとても勉強になった」と話していた。

愛知、九州に次ぐ国内第3の拠点として、コンパクト車づくりの企画・開発から調達・生産までを一貫して担う。東北経済や地域を活性化させる牽引役として期待が高まる。

新会社は、関東自動車工業(神奈川県横須賀市)を存続会社とし、セントラル自動車(大衡村)、部品製造のトヨタ自動車東北(宮城県大和町)の2社を吸収合併する形で発足。従業員約7800人。

東北経済の牽引に期待  
トヨタ東日本発足

トヨタ自動車グループの3社が合併し、1日にトヨタ自動車東日本(宮城県大衡村、白根武史社長)が誕生した。東北を

放射性物質検査で基準値を大幅に超えたことが解禁。4000匹の稚魚を放流した。同川流域では、8月下旬ごろ

H24.7.2岩手日日新聞

品種 木植栽 県内初

内に植栽した。同センターの長年の研究から従来品種よりも平均生存率を80%に高めた苗木で、松くい虫被害で枯渇する県

に当たる世代の人工交配を行い、種子の平均生存率を80%に高めた。従来品種の抵抗性品種に比べて生存率の確率が約1.6倍

水銀灯用LED電球役立てて  
APSジャパン  
一関市に寄贈

一関市東台に技術開発部門を置く精密プレス加工のAPSジャパン(本社大阪府、渡邊輝夫代表取締役)は6月28日、一

衡ではモデルチェンジしたばかりの主力小型車「カローラ」と輸出用「ヤリスセタン」、東富士は「ラクティス」などを生産する。

本社には「東北現調化センター」を置き東北地方での部品調達を拡大、岩手工場内には「技術センター」東北」を設置し、産学官の連携による新技術や新製品の開発を強化していく。



渡邊代表取締役が市役所を訪れ、同センターを管理する都市計画課の永井正博課長に電球を手渡した。永井課長は「ありがたく受け、活用させていただきます」との勝部修市長の感謝の言葉を代読し、礼を述べた。

同社は2008年に進出した誘致企業。寄贈したLED電球は水銀灯用として同社が開発したもので、消費電力は49%。

軽量化も図られ、既存の灯具をそのまま利用できるとの大きな特徴。

渡邊代表取締役は「灯具も取り替える一般的なものに比べて予算も抑えられる。誘致企業としてお世話になっている市と市民の方々に利用していただければ幸いです」と話した。

取り替え作業は2階部分22カ所が既に終了。7月には1階部分25カ所を取り替える。

水銀灯用のLED電球を寄贈するAPSの渡邊代表取締役(左)

関市に自社開発の水銀灯用LED(発光ダイオード)電球47個を寄贈した。市はJR一関駅東口交流センターの屋内用照明に活用する。

政府広報

節電のお願い

●今夏、電力不足が懸念されます。政府、電力会社は、電力需給バランスの確保に最大限の努力をして参りますが、国民の皆様のご協力が必要です。

●ご家庭等でできる節電メニューを、下記で紹介しています。

▽熱中症等にご注意いただきながらご協力をお願いします。

経済産業省

節電メニュー、地域別目標等は、[節電.go.jp](http://節電.go.jp)

奥州市水沢区に住む名字研究家の男性を取材する機会があった。

名字の研究には地名と家紋の調査が欠かせないという話を聞き、ふとわが家の家紋を思い出そうとしたが、情けないことに正確な形が頭に浮かばなかった▼冠婚葬祭でもない限り普段生活する中で家紋を気に留めることなどなかなかないが、徳川家康の「三葉葵」、伊達政宗の「仙台笹」、直江兼統の「愛」など、戦で掲げる旗印と同様戦国武将は自身の家系や血統、家柄を表す紋章に特別な思いがあったに違いない▼藩政時代の家紋が自治体のシ

栗駒おろし

出張査定 無料

トラクター・田植機・コンバイン等

農機具現金買取

不要な農機具 お売り下さい!!

中古農機販売 農機目撃るば